

1. 経営発達支援事業

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a (括弧内は29年度目標)	実績 (4月～11月)b (括弧内は29年度実績)	目標達成度 (b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
I 地域の 経済動 向調査	①「小規模企業景気動向調査」の実施	○対象:9業種9事業者(食料品・機械・金属)・建設業、小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)、サービス業(旅館、洗濯、理・美容) ○調査方法:毎月巡回による ○調査内容:対前年同月比として、「売上額」、「仕入単価」、「採算」、「資金繰り」、「業界の業況」の5項目について調査し、整理・分析などを行う	108回 (108回)	72回 (108回)	C	これまで予定通り実施されており、ホームページに掲載することで周知も十分図られている。	○調査結果の報告 ・県商工会連合会で県内各商工会から報告した結果をまとめた月単位での「小規模企業景気動向調査報告書」を発行 ①森町商工会会員への周知 森町商工会ホームページへ毎月掲載 ②商工会理事会での報告 ・開催日:30年4月20日、6月13日、10月5日	【成果】 ・9業種9事業者の景気動向を把握するため、管内の小規模事業者を訪問し、毎月の景気の動向を聞き取りを行っている。また、県商工会連合会が集計した静岡県下の景況DIについて、森町商工会ホームページで毎月掲載し、周知している。	・今後も継続して巡回し、景気動向とともに事業者のニーズを拾い上げるようにしていく。
	②「森町の基幹産業経済動向調査」の実施	○対象:製茶業、和洋菓子製造小売業 ○調査方法:巡回訪問 ○調査内容:「経営の振り返りシート」などを活用するなど一歩踏み込んだ動向調査を収集し、整理・分析	60回 (60回)	79回 (113回)	A	既に目標が達成されている。定性的な情報収集には、今後の「経営の振り返りシート」の活用が期待される。	○経済動向調査の実施内訳 ・製茶業:57回、菓子製造小売業:22回 ・経営の振り返りシート活用 現在未実施	【成果】 ・当町の基幹産業である製茶業、菓子製造小売業につき訪問時に現況把握に努め、時節に応じた施策提案のほか今後の小規模企業施策の立案に向けた基礎資料としている。	・今後は「経営の振り返りシート」を活用し現況の把握及び今後に向けての課題の抽出に努め、各種施策の提案につなげていく。
II 経営分析・ 需要動 向調査	①小規模事業者への巡回訪問	○経営指導員等による巡回訪問	1,800件 (1,800件)	568件 (1,680件)	D	今後税務申告期になり目標未達が予測される。	○巡回訪問者:2名 平田(経営指導員) 385件 横田(記帳専任職員) 183件	【成果】 ・経営指導員が年間目標に基づく各月次の巡回計画表の設定目標に沿った巡回指導を実施。 ・将来の経営指導員候補者を加え、巡回に対する意識の醸成につなげている。	・今後も目標達成に向けて巡回計画表に従い取り組んでいく。
	②小規模事業者からの窓口相談	○経営指導員等による窓口相談	590件 (570件)	110件 (223件)	E	経営指導員以外の職員の対応も実績に算入することを検討すべきである。	○主な相談内容 経営一般、金融、記帳・税務・労働等 平田(経営指導員) 72件 横田(記帳専任職員) 38件	【成果】 ・経営指導員不在時には他の職員が対応するなど一体的な相談体制の確立につながっている。	・今後は税務相談が多くなる時期を迎えるため目標達成に向けて継続して取り組んでいく。
	③小規模事業者の経営分析の実施	○経営分析の必要な小規模事業者を抽出し、他の支援機関とも連携しながら、財務諸表を元に経営分析を実施する。	18件 (15件)	23件 (25件)	A	既に目標を上回り、大いに評価できる。	○経営分析の実施 ・小規模事業者持続化補助金申請者14名と日本政策金融公庫マル経資金借入相談者4名に加え経営力向上事業費補助金申請者述べ5名を対象に、現状における経営分析を実施した。	【成果】 ・財務諸表を元に経営分析を実施。その結果、小規模事業者持続化補助金や経営力向上補助金では申請者の課題解決に向けての経営計画書作成につなげ今後の経営方針等策定につなげた。 ・マル経では、運転資金及び設備資金の調達につなげ経営改善を図った。	・今後も引き続き小規模事業者の経営分析をとおし円滑な経営に資するよう経営計画書の作成等に取り組んでいく。
	④小規模事業者の需要動向調査の実施	○新分野への進出、展開を目指す小規模事業者に対して、需要動向を把握するなど整理・分析を実施する。	18件 (16件)	11件 (9件)	C	目標達成への今後の取組が期待される。	○需要動向調査の実施 ・精肉加工業者・製茶業に対して、訪問等の機会を通じ、需要動向の把握を行っている。	【成果】 ・現状分析の把握につなげ、現況に応じ持続化補助金や県連専門家派遣事業などの施策活用につなげた。	・需要動向調査を元に経営計画策定につなげ持続的な発展に資するよう取り組んでいく。
III 事業計画 の策定・ 実施支援	①事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起し	●経営計画策定セミナーを開催し、小規模事業者の掘り起しを行う。	セミナー実施回数:3回 (セミナー実施回数:3回) セミナー受講者:10名 (セミナー受講者数:10名)	(4回) (15名)	—	セミナーの実施と会員の勧誘を実施し、受講者数においても目標達成を目指すべきである。	・今後実施予定	—	●「経営計画書作成セミナー」の開催 ・趣旨:小規模事業者等の持続的な発展に資するよう経営計画書作成のためのスキルを身に付けることを目的とする。 ・開催日:31年1月21日、28日1、2月4日の3日間(3回コース) ・会場:森町商工会 ・講師:中小企業診断士 織野大輔氏 ・受講者:15名予定
	②事業計画の策定支援	●経営計画策定セミナー個別相談会を開催し、事業計画の策定を支援する。	個別相談会3回 (個別相談:10件) 対象者:6名 (受講者:2名)	(2件)	—				
	③事業計画の実施支援	○「小規模事業者経営発達支援融資制度」や「小規模事業者持続化補助金」の利活用を支援する。 ○事業計画策定後のフォローアップとして、巡回訪問・指導・助言を行う。		19名 (31名) 15件 (—)	12件 (28件)	A B	小規模事業者持続化補助金と経営力向上補助金の支援を、目標を上回る事業計画策定につなげることができた。 不採択者へのフォローアップも望まれる。	○平成29年度補正小規模事業者持続化補助金では14名の利活用につなげた。 ○経営力向上補助金では述べ5名の利活用につなげた。 ○平成29年度補正小規模事業者持続化補助金では14名のうち採択を得た9名に対し計画的な事業を遂行する上でのフォローアップから実績報告書作成まで支援している。 ○経営力向上補助金では述べ5名のうち採択を得た3名に対し計画的な事業遂行のためのフォローアップから実績報告書作成まで支援している。	【成果】 ・新たな需要開拓(新規顧客開拓)に資するため「小規模事業者持続化補助金」の内容を理解するとともに、小規模事業者にとって不慣れな経営計画を始め申請書類の作成方法等につき伴走型支援に取り組んだ。 ・経営力向上補助金では、同業他社との差別化を図るため経営革新を意識した経営計画書の作成方法等につき伴走型支援に取り組んだ。 ○持続化補助金 1次:申請14件 採択9件 採択率64.3% ○経営力向上補助金 1次:申請4件 採択2件 追加:申請1件 採択1件 合計:申請5件 採択3件 採択率60.0%

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a (括弧内は29年度目標)	実績 (4月～11月)b (括弧内は29年度実績)	目標達成度 (b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
IV 創業・経営革新支援	①創業支援	●創業希望者の掘り起し ①広報:新聞折込み 商工会ホームページ掲載 ②個別相談会の開催:毎月1回 ③窓口相談の実施 ③近隣商工会が開催している創業塾との連携	創業希望者の掘り起し:15人 創業支援者数:10人 個別相談会:2回 連携創業塾3回 (個別相談会:3回) (連携創業塾:3回)	個別相談会:2回 相談者:2名 連携創業塾:4回 受講者述べ:36 (個別相談会:3人) (セミナー受講者:18人)	A	予定通り実施された。相談者2名に対する継続的な支援が望まれる。	●個別相談会 (1)実施日(会場:森町商工会) ①30年9月22日(土)10時～12時 相談者:0名 ②30年11月17日(土)10時～12時 相談者:2名(創業間もない方) (2)広報 ①新聞折込み、集合チラシ ②新聞折込み、集合チラシ、役場回覧 ●近隣商工会との広域連携「創業塾」 実施日:30年11月20日、22日、26日、29日の4回でいずれも19時から21時 会場:磐田市商工会 主催:磐田市、浅羽町、森町3商工会 受講者:述べ37名(森町0名)	「成果」 ・開業に伴う記帳・税務の知識・事務処理方法や労働保険制度等を説明し、相談者の理解を深めた。 ・創業者の掘り起こしとして町内全域に広報が行き渡るよう折り込みチラシのほか当会HPにて周知・募集を図った。しかし9月は申込者ゼロであったため2回目には森町役場の町内回覧を活用したところ2名の申し込みにつながった。 【成果】 ・中遠地域において、現在創業を検討している者や創業間もない者を集約して総合講座を開催することで、効率的・効果的に支援を図ることができた。 ・受講者にとっても、創業に必要な基礎知識を取得するとともに、必要なビジネスプランの作成方法を具体的に学べる機会として、4日間という密度の濃い講座を受講したことで、起業・創業がより現実化したものと思われる。	・相談者2名に対して、今後も折に触れ記帳税務に対する支援を継続していく。 ・今後も各商工会団体が連携によるフォローアップに務めていく。
		○創業後の支援 ・専門家による個別フォローアップ、 税務・労務・金融相談等	3人 (5人)	0人 (0人)	E	—	・現在のところなし	—	・個別相談会受講者の相談内容に応じ対応を講じる。
	①経営革新支援	○経営革新チャレンジ企業の発掘 ・経営指導員による巡回指導等	訪問延べ回数:60回 (60回) 承認件数1件 (6件)	訪問延べ回数:45回 (48件) 承認件数1件 (6件)	C	承認件数では目標を達成しており、さらに上積みも期待される。訪問回数でも目標に近づける努力が必要である。	○巡回指導の実施 ・経営指導員による巡回訪問等を通じ、経営革新計画の承認によるメリット等を説明し、候補事業者の掘り起しを行っている。	「成果」 ・巡回指導等による候補者掘り起こしの結果、1社の承認につながった。これにより当初の最低限の目標はクリア。	・現在申請中が1件、申請に向けた支援2件と継続中。
		○経営革新計画承認申請の支援、承認後のフォローアップ	10件 (10件)	延べ16件 (12件)	A	既に目標を達成済み。	○承認を得ている12件に対し、実施状況報告書の作成等を通じ、フォローアップに務めている。	「成果」 ・経営革新計画に従い現在の進捗状況の把握と共にケースに応じて県連専門家派遣事業や販路開拓事業など施策活用を提案するなど対応を講じている。	・今後も目標達成に向けて採択者を対象にフォローアップに務めていく。
V 小規模事業者販路開拓支援	①展示会や販売会などの情報提供	●販路開拓支援のための県内外での展示会や販売会などの情報提供、出展支援	販路開拓4件 (販路開拓支援件数:4件)	延べ35件 (18件)	A	既に目標を達成しているが、引き続きのフォローアップ支援が求められる。	○県連販路開拓支援事業 2件 ○県連チャレンジショップ出品 8件 ○販売促進応援事業 3件 ●集団セミナー 「ものづくり生産性向上実務講座」 日時:30年11月21日 講師:中小企業診断士 梶野大輔氏 会場:森町商工会 出席者:7名 ○「新規客を集め売上を上げるA4 1枚 チラシの作り方」集団セミナー 日時:30年7月27日、8月3日の2回 講師:「A4」1枚アンケート広告作成 アドバイザー 神南臣之輔氏 会場:森町商工会 出席者:15名	「成果」 ・県連販路開拓支援事業を活用し販路開拓への支援を講じると共に静岡伊勢丹のチャレンジショップ(県連の運営)に8件が出品した。また、県内外で開催される催事等へ出展した事業者の係の経費の一部を助成している。 「成果」 生産性を高める手立ての考え方等実務に直結するノウハウの吸収につながった。また、グループワークを取り入れたことで講義の理解が深まった。 【課題】 受講者の確保を図るとともにより実践的で具体的な内容に特化した講義とすることで受講者の満足度を高めていく必要がある。	・今後も販路開拓に資するよう継続して取り組んでいく。 ・30年12月4日にフォローアップとして講師による個別相談会を開催し、よりきめ細かい支援を行う。
		○当商工会が有する商標権「森の石松」の活用やホームページなどを活用し、広告宣伝や販売促進を支援	—	—	—	引き続き情報発信していくべきである。	○森町商工会管理ホームページ 情報推進委員会が中心となり、情報発信に取り組んでいる。その主体であった「ええら森町ポータルサイト」は8月末で閉鎖。現在、Facebookに切り替え森町の魅力を発信している。	【成果】 ・Facebookに切り替えたことでタイムリーな情報発信ができるようになった。 【課題】 ・商標権「森の石松」については、現在まで成果が出ていない。	・今後も森町情報の発信に務めていく。
		○既存商品の見直し、新商品開発に係る専門家派遣	3件 (3件)	(3件)	E	巡回によるヒヤリングを強化すべきである。	・現在のところなし	—	・巡回等をおし発掘に務めるとともに相談事由が生じた際には、施策を活用するなど支援を講じていく。
	○ジェットロと連携した移動相談会の開催	1回 (1回)	1回 (1回)	A	相談者1名へのフォローアップが望まれる。	○「ジェットロ浜松貿易相談会」の開催 ・開催日:30年7月25日 ・会場:森町商工会館 ・主催:ジェットロ浜松 ・相談者:1名	【課題】 ・輸出に意欲のある事業者の個々のニーズに合わせたタイムリーな情報を提供していく必要がある。	・今後もジェットロ浜松と連携して取り組んでいく。	

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a (括弧内は29年度目標)	実績 (4月～11月)b (括弧内は29年度実績)	目標達成度 (b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等	
V 小規模事業者販路開拓支援	○販売促進会の実施		出展件数 2件で延3日間 (出展件数2件で延1日間)	6件 (7件)	A	浜松市での開催で森町のアピールができたことは大いに評価できる。6件中3件、売上の7割が菓子店で占められているとのこと、栗などの旬の時期の開催が奏功した。出展料負担がなく事業者も参加しやすいことから、来年度以降より充実した取り組みが期待される。	<ul style="list-style-type: none"> ○『遠州の小京都森町発 おごちそう』の開催 ○日程 30年11月9日(金)～11日(日)、3日間 9:00～19:00、 ○場所 イオン浜松市野店 ○目的 森町の農産物及びそれらを活用した食品により、都市地域における遠州の小京都 森町を情報発信・浸透を図る。 ○出展:6事業所 ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・遠州の小京都森町のPR(観光地・名所の紹介) ・森乃茶の試飲、森町産農産品・菓子等の試食 ・治郎柿原木の里のPRと新生次郎柿ワインの販売時期の紹介 ・遠州の小京都森町発の究極逸品 ・米・森の究極のこしひかり、治郎柿、お茶 ・原木シイタケ、メロンロールケーキ、 ・森町産栗蒸し羊羹、梅衣等 ・売上総額 154万円余 	「成果」 森町が有するお茶、治郎柿、原木シイタケなどの農産物並びにその加工品は、いずれも森町を代表する逸品として知名度は高い。今回森町産の逸品を一同に集めた物産展を政令市・浜松市内で開催したところ、大勢のお客様で賑わい、都市部の住民に対して遠州の小京都森町の観光地・名所・特産物の情報発信と共に特産物の賞味堪能・お買い上げを願い、所期の目的を達成することができた。	—	
			○先進事例の視察研修の実施	BtoB支援件数:2件 (BtoB支援件数:2件)	(0件)	—	計画通りの実施が望ましい。	・今後実施予定		○工業部視察研修 ・実施日:1月後半～2月前半で現在検討中 ・視察先:工場見学とものづくり産業展
			○小商圏を経営主眼とする小規模事業者への森町産業祭への出展奨励	30件 (30件)	26件 (28件)	B	出展件数の目標は未達だった。しかし、5会員の新規出店があったことは取り組みの成果と評価できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○「もりもり2万人まつり&農協祭」 ・実施日:30年11月18日(日) ・会場:森町文化会館およびお祭り広場 ・主催:森町産業祭実行委員会 ・出店数 26件 	【成果】 ・町内の特産品の紹介はもとより、工業関係者の製品等の紹介も行い、町内外へ商店・企業のPRができた。 ・新規として5会員が新規に出店した。 【課題】 ・意欲がある会員の出店を促すことができたが、今後も継続し出展件数の維持等をいかに図っていくかが課題。 (平成28年:出店21件、平成29年:28件)	—
	②ものづくり企業に対する近隣商工団体が主催する展示会等への出展奨励	○ものづくり企業において、近隣商工団体が主催する展示会との連携し、認知度の向上並びに技術力のアピール、併せて販路(受注)開拓の機会を創出	検討会:2回 (当商工会内検討会:2回)	0回 (0回)	E		・現在のところ未実施	【課題】 ・町内事業者のニーズを把握する必要がある。	・巡回指導やセミナーでのアンケート等を通じて、ニーズの把握に努めていく。	
			打合せ会:1回 (展示会打合せ会:1回)	0回 (調査未実施)	E	事業者とのコミュニケーションが重要であり、計画期間内の実施が望まれる。	・現在のところ未実施	【課題】 ・町内事業者のニーズを把握する必要がある。	・巡回指導やセミナーでのアンケート等を通じて、ニーズの把握に努めていく。	
			バイヤー等来場者数:2,200人 (バイヤー等来場者数:2,100人)	0回 (調査未実施)	E		・現在のところ未実施	【課題】 ・町内事業者のニーズを把握する必要がある。	・巡回指導やセミナーでのアンケート等を通じて、ニーズの把握に努めていく。	
			他団体主催出展回数:1回 (他団体主催出展回数:1回)	3回 (4回)	A	計画通り実施された。引き続き参加事業者へのフォローが期待される。	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu ・開催日:30年7月11日～12日 ・主催:浜松信用金庫 ・出展者:235社 ・森町からの出展:4社 	【成果】 ・具体的な商談には至らなかったものの、所期の目的である企業PRについては、来場者との名刺交換や出展者同士の交流を図ることで一定の成果があった。	・巡回指導やセミナーでのアンケート等を通じて、ニーズの把握に努めていく。	
	他団体主催 出展支援件数:4件 (他団体主催 出展支援件数:2件)	4件 (5件)	A	計画通り実施された。引き続き参加事業者へのフォローが期待される。	<ul style="list-style-type: none"> ○いわた産業振興フェア ・開催日:30年11月9日～10日 ・主催:いわた産業振興フェア実行委員会 ・出展者:180社 ・森町からの出展:2社 	【成果】 ・具体的な商談には至らなかったものの、所期の目的である企業PRについては、来場者との名刺交換や出展者同士の交流を図ることで一定の成果があった。				
						<ul style="list-style-type: none"> ○メッセナゴヤ2018 ・開催日:30年11月7日～10日 ・主催:メッセナゴヤ実行委員会 ・出展者:1437社 ・森町からの出展:2社 	【成果】 ・来場者との名刺交換約150枚、見積依頼10件受けた。今後受注を得るよう引き続き営業強化に努めていく。	・巡回指導やセミナーでのアンケート等を通じて、ニーズの把握に努めていく。		
						<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu ○いわた産業振興フェア ○メッセナゴヤ2018 	【課題】 ・町内企業への周知をより丁寧にしていく必要がある。	・巡回指導やセミナーでのアンケート等を通じて、ニーズの把握に努めていく。		

項目	実施事業	事業内容	本年度 目標a (括弧内は29年度目標)	実績 (4月～11月)b (括弧内は29年度実績)	目標 達成度 (b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
2. 地域の活性化に資する取り組み									
I 地域 活 性 化 事 業	①「森町の商工業を元気にするプロジェクト」の推進 ○観光交流客数を10年後に倍増させるプロジェクトの推進することにより、商工業活動が元気な森町づくりを図る。 ・課題点の調査・検証・解決策の検討、元気プランの策定・実施	○元気プランの策定・提言	実施内容の検討等：2回 (プロジェクト 実施回数：2回)	1回 (2回)	C		○遠州の小京都まちづくりの進め方会議 ・開催日：平成30年10月5日 ・議題：遠州の小京都まちづくり基本計画の理解・浸透 ○遠州の小京都まちづくりの研修会等 ・開催日：(未実施・今後予定)	【成果】 平成29年3月策定の遠州の小京都まちづくり基本計画を踏まえ、会員自身への周知と具現化に向けた計画づくりの協議。 【課題】 遠州の小京都まちづくり基本計画の会員自身の理解向上が必要である。	—
	② 婚活事業の推進	○婚活事業	①3商工会合同 ・開催月：2月予定 (3商工会合同：1回 男女計60名) (単独：1回 男女計50名)	(実績 2回) (共催計33名) (単独計77名)	—	計画通りの実施が期待される。	・今後実施予定		3商工会合同「ええら!!森婚」 ・開催日：平成31年2月10日(日) ・会場：体験の里アクティ森 ・主催：森町商工会、後援：森町 ・参加募集人数：男性25名、女性25名、計50名 ・参加資格 男性：20歳以上(磐田市・森町・袋井 市在住及び森町在勤の未婚者) 女性：20歳以上(未婚者)
3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取り組み									
II 経営 指 導 員 等 の 資 質 向 上 等 に 関 す る こ と	② 森町商工会が小規模事業者の期待に応える経営発達支援事業を行うため職場内教育研修(OJT)を実施する。	●職場内OJTの開催	回数：2回	回数：1回	C	計画通り実施された。今後も継続的な取り組みが望ましい。	●職場内研修 ・実施日：30年7月10日 ・講師：中小企業診断士 北川裕章氏 ・受講者：職員5名、委員9名 ・内容：小規模事業者を取り巻く環境と活用できる支援メニュー	【成果】 ・平成30年度スタート時の職員は、正規6名・臨時1名の7人で、経験年数は、事務局長、臨時職員を除く5名は、20年超が2名、3年以内が3名。こうした状況にあつて、経験年数の短い職員にあつては、商工会の主たる事業である経営改善普及事業に加え小規模事業者の状況に応じ、経営革新計画や販路開拓等活用できる支援メニューを知る機会とともに知識の吸収につなげることができた。	○第2回目の職場内研修会を以下のとおり開催。 ・実施日：30年12月10日 ・講師：中小企業診断士 北川裕章氏 ・受講者：職員5名 ・内容：「経営分析の理解と分析手法の習得&経営分析を生かした経営計画の必要性」